

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2002-101315(P2002-101315A)

【公開日】平成14年4月5日(2002.4.5)

【出願番号】特願2000-289066(P2000-289066)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 5/00

G 06 F 3/16

G 10 L 15/06

G 10 L 15/00

H 04 N 7/173

H 04 Q 9/00

【F I】

H 04 N 5/00 A

G 06 F 3/16 3 2 0 H

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 Q 9/00 3 0 1 E

H 04 Q 9/00 3 1 1 Q

H 04 Q 9/00 3 2 1 E

H 04 Q 9/00 3 3 1 A

G 10 L 3/00 5 2 1 C

G 10 L 3/00 5 5 1 F

G 10 L 3/00 5 5 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月26日(2004.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】リモコン装置および遠隔制御方法およびプログラムおよび記録媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、音声認識によりテレビに対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを備え、前記閲覧内容には、テレビを操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換して前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によってテレビを遠隔操作するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 2】

サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、所定の外部機器と、音声認識により所定の外部機器に対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを備え、前記閲覧内容には、所定の外部機器を操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換して前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によって所定の外部機器を遠隔操作するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載のリモコン装置において、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みから言語モデルを生成し、当該言語モデルを構成する単位で表現された音声認識モデルとユーザの入力音声の特徴量とを比較することによって音声認識を行ない音声認識結果を得るようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 記載のリモコン装置において、前記情報処理手段は、前記機能セットを無線通信によってリモコン手段に送信するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 5】

請求項 1 または請求項 2 記載のリモコン装置において、前記情報処理手段は、リモコン手段を装着することによって、前記機能セットをリモコン手段に送信するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 6】

請求項 1 または請求項 2 記載のリモコン装置において、前記テレビは、該テレビの閲覧機能が前記閲覧内容を課金対象と判断した場合に、前記サーバに課金情報を送信するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 7】

請求項 1 至請求項 6 のいずれか一項に記載のリモコン装置において、前記情報処理手段は、前記機能セットを複数のグループに分けて記憶し、要求に応じて、複数の当該グループの中の 1 つのグループの機能セットを選択し、前記リモコン手段に送信するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 8】

請求項 1 または請求項 2 記載のリモコン装置において、前記機能セットは時刻に対応した情報を有し、また、前記情報処理手段は時計を有しており、前記情報処理手段は、前記時計を用いて、機能セットの一部を前記リモコン手段へ送信するようになっていることを特徴とするリモコン装置。

【請求項 9】

サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、音声認識によりテレビに対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを有するリモコン装置における遠隔処理方法であって、前記閲覧内容には、テレビを操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換して前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によってテレビを遠隔操作することを特徴とする遠隔制御方法。

【請求項 10】

サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、所定の外部機器と、音声認識により所定の外部機器に対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを有するリモコン装置における遠隔制御方法であって、前記閲覧内容には、所定の外部機器を操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換して前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によって所定の外部機器を遠隔操作することを特徴とする遠隔制御方法。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 請求項 8 のいずれか一項に記載のリモコン装置、または、請求項 9 または
請求項 10 に記載の遠隔制御方法における情報処理手段の機能をコンピュータに実現させ
るためのプログラム。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 請求項 8 のいずれか一項に記載のリモコン装置、または、請求項 9 または
請求項 10 に記載の遠隔制御方法における情報処理手段の機能をコンピュータに実現させ
るためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、音声認識を用いて所定の機器を遠隔操作するためのリモコン装置および遠隔制御方法およびプログラムおよび記録媒体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、サーバが提供する情報をを利用して、音声認識対象語を入れ替え可能であって、音声認識を用いて所定の機器を遠隔操作することの可能なりモコン装置および遠隔制御方法およびプログラムおよび記録媒体を提供することを目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、請求項 10 記載の発明は、サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、所定の外部機器と、音声認識により所定の外部機器に対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを有するリモコン装置における遠隔制御方法であって、前記閲覧内容には、所定の外部機器を操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換して前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は

、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によって所定の外部機器を遠隔操作することを特徴としている。

また、請求項11記載の発明は、請求項1乃至請求項8のいずれか一項に記載のリモコン装置、または、請求項9または請求項10に記載の遠隔制御方法における情報処理手段の機能をコンピュータに実現させるためのプログラムである。

また、請求項12記載の発明は、請求項1乃至請求項8のいずれか一項に記載のリモコン装置、または、請求項9または請求項10に記載の遠隔制御方法における情報処理手段の機能をコンピュータに実現させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

【発明の効果】

以上に説明したように、請求項1、請求項9、請求項11、請求項12記載の発明によれば、サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、音声認識によりテレビに対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを備え、前記閲覧内容には、テレビを操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換し、前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によってテレビを遠隔操作するようになっており、インターネットに接続されたサーバが提供する情報を利用して、音声認識対象語を入れ替えることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

また、請求項2、請求項10、請求項11、請求項12記載の発明によれば、サーバが提供する情報の閲覧機能を有するテレビと、テレビの閲覧機能により得られた閲覧内容に対して所定の処理を行う情報処理手段と、所定の外部機器と、音声認識により所定の外部機器に対して遠隔操作を行なうリモコン手段とを備え、前記閲覧内容には、所定の外部機器を操作する機能コードと音声認識対象語とが対応している機能セットが含まれており、前記情報処理手段は、音声認識対象語を言語解析によって読みに変換し、前記機能セットに付加し、該機能セットを、要求に応じてリモコン手段に送信し、前記リモコン手段は、前記情報処理手段から送信された機能セットに含まれている音声認識対象語に対応する読みのいずれかをユーザに発声させて音声認識を行ない、音声認識結果に対応する機能信号によって所定の外部機器を遠隔操作するようになっており、インターネットに接続されたサーバが提供する情報を利用して、音声認識対象語を入れ替えることができる。